

## 資産運用レポート：後の祭り

1 はじめに

長期投資家として、いちばん悔しいことは何でしょうか？

私の場合、ずっと持っていれば大幅に上昇した株を安値で売ってしまったことです。

一例をあげると、MonotaRO（3064）を2011年3月25日にたった29円で売りました（株式分割修正済）。

同社の株価は2,387円（2022年11月18日終値）。投資の世界にタラレバは禁物とは言え、持ち続けていれば82倍になった計算です。

高値圏では3,000円を優に超えており、そこで売れば100倍株（ハンドレッドバガー）を達成できた銘柄でした。

このような投資先を選んでおきながら、東日本震災後のパニック相場に耐え切れずに手放してしまいました。まさに「後の祭り」です。

同社以外にも、安値で売ってしまった銘柄は少なくありません。この手の投資行動を繰り返しているようでは、今後、決して投資家として大成できないでしょう。

今回の資産運用レポートは、この「後の祭り」をテーマとして取り上げます。

## ★MonotaRO 月足チャート（対数表示） 2011～2022年

